

今月の
スポットライト
Spotlight

青全交で学んだ
『組織運営』を
実践する

ピシャット内装
代表
立山 智洋さん

宮崎北
支部

お仕事について教えてください。

弊社は内装工事業者です。その中で室内装飾業という分野になりました。壁紙を貼ったり、床を貼ったりする仕事と言った方がイメージしやすいかもしれませんが、高校を卒業して福岡県に行きました。福岡県では、水道設備の営業や掃除業、内装業で仕事をしていました。いろんな仕事をする中で内装屋さんとしてこれからの生計を立てていこうと考えました。

33歳の時に宮崎に帰ってきて、2013年に独立して11月で11期を迎えます。今は都城市高崎町と宮崎市を中心に仕事をしています。11月からは宮崎市に事務所を構える予定です。

青全交では非常に重要な役割を持たれていたなあと拝見していましたが、青全交での役割と通じて学んだことをお聞かせください。

役割は分科会づくりのリーダーでした。分科会のつくり込みの中で宮崎同友会の「顔」は室長さんで

同友会に入会したきっかけを教えてください。

経営や人のことで悩んでいると相談をしていた宮崎南支部の井戸泰雄さん（IDO・井戸事務所）さんに勧められました。井戸さんとは以前、内装業の飛び込み営業をしていた時に事務所に伺わせてもらって、それからお付き合いです。

した。その室長さんが、しつかりと資料の準備や打ち合わせの日程調整などスムーズにできるようにアテンドをしたり、なにか問題があった時には解決できるように実行委員会と繋いだりといったフオーローを中心に行いました。

他県がやってきたことをそのまま踏襲するのではなく、宮崎のやり方も取り入れて分科会づくりを行っていました。自分の判断で決定した方が早いこともありませんが、決定権がどこにあるかを考えなければいけないということ、「組織」という仕組みを学びました。また、「あなたがどう考えるかを交えて提案してもらえない」と提案に対して回答ができない」とも言われました。その通りでしたね。

皆さん初めての経験だったのだけれどリーダーとしては、少々はつたりを利かせて自信をもって答えることも大事だと感じました。

オフのときはどうしているのですか。

バイクや旅行が好きです。今はイギリスのリパブルのサッカーチームの試合を見るのが楽しみです。夜中でもオンタイムで見ますよ。でも、最近では趣味はと聞かれると「仕事」と言っています。

これからの夢をお聞かせ下さい。

仕事関係でいえば、法人化や雇用を考えています。以前は雇用をして

いましたが、今は社員がいらないので雇用をして、社員と一緒に経営理念を実現していきたいです。雇用をして社員が幸せに成長できるように第20期「経営指針をつくる会《方針・計画編》」を受講しています。第17期「経営指針をつくる会」を受講しましたが、そのときにつくった方針・計画が腑に落ちなかったもので、改めてつくり直そうと思っています。青生交で学んだ組織運営を早く自社で実践したいです。

他には、事務所の移転や建設業の許可を取るなどです。

個人的にはリパブルに一度は行ってみたいですね。

DO YOU

活動ズームアップ

🔍

〔ひむか支部〕

財務学習会



10月22日に財務学習会を開催しました。6月に開催した基礎講座の復習と自社の決算書を用いての限界利益の算出等を実習しました。固定費と変動費を明確にすることで、債務返済や利益額を見越しての自社の売上必要額を算出できました。今回の学びをベースにして、採用や投資といった自社の未来像から逆算して年間売上計画作成ができそうです。

〔宮崎南支部〕

アイカツ

10月18日、宮崎南支部アイカツを10名で開催。宮崎市南消防署の福永政人氏、神園健太氏による、「防災・救命の講話」と「AED講習体験」を南消防署に行いました。

AED講習に初体験の方もいて、「貴重な経験ができた」、「会社で、地域で、もしもの時に戸惑いなく行動ができそう。」等の声が聞こえてきました。



〔きりしま支部〕

同友会を知り合う会



10月9日「きりしま支部同友会を知り合う会」を開催し、新会員やゲストを招き、同友会の理念や活動が紹介されました。参加者は30名にのぼり、交流を深めながら、会員たちがどのように企業活動に同友会を活かしているかが共有されました。今後も地域に仲間を増やし、良い企業づくりに取り組んでいきます。

＼ 新着まだまだ、たくさん活動しています！／

活動内容は
同友会Facebookでも配信！！



10月理事会報告

日時：10月30日（水）17:00～20:10 於：Zoom会議 理事26名中24名出席（出席率92.3%）+事務局1名

01. 中同協第56期第2回幹事会（10月16日）の報告から下記3点を確認しました。

①第55回中小問題全国研究集会in愛媛への宮崎同友会参加目標は10名。

②実施協力要請の「環境経営・エネルギーシフト・SDGs」に関するアンケートと「経営実態アンケート」は、会員へ案内する。

③11月と12月が登録強化・普及月間となる「企業変革支援プログラムVer2」は、全同友会で会員数の10%の登録を目標としたい（宮崎同友会登録目標47件）という要請のもと、各支部幹事会・青年部会幹事会で取り組みを推進する。

02. 前回理事会（9月27日）から10月28日までの3名の入会申し込み5名と3名の退会申出を承認しました。会員数は466名。

03. 各推進協議会からの報告

(1) 人が育つ会社づくり推進協議会

役員研修会を12月14日（土）に、各組織のリーダー層の研修会を来年2月か3月にかけて開催すること、12月の研修会への参加を確認しました。

(2) 組織強化推進協議会

10月の各支部幹事会で話し合われた、期末会員数目標を下記の通り確認し、各組織必達で取り組み、期末500名突破を申し合わせました。

	県北	ひむか	宮崎北	宮崎南	きりしま	合計
3/31 目標	60	36	144	90	180	510
10/1 現在	58	32	136	77	160	463
純増数	2	4	8	13	20	47

(3) 地域づくり推進協議会

川崎座長より7-9月期景況調査結果の概要が報告されました。（本誌5頁に概要掲載）

04. 第33回みやざき中小企業経営フォーラムの準備について、南平実行委員長からの報告をもとに、記念講演と3つの分科会の報告者と参加費を確認するとともに、11月から受付開始で1月末までに目標を達成するよう10月の各支部幹事会・青年部会で行動計画をつくることを申し合わせました。

05. 上半期の財務執行状況の報告と後半期の見通しについて、弥富総務委員長にかわって結城事務局長から下記の報告がありました。「上半期は入会数が低迷し入金・会費収入が予算を下回ったが、書籍販売・雑収入・活動繰入金が計画を上回ったことで収入は予算比98.6%。支出も押さえられ予算比96.3%ととなったため、上半期では黒字。下半期は、経費の見直しをしても会員増強の不振が影響して、半年度赤字となる見通し。」

これを受けて、理事会として対応を協議し、①12月末までに15名～20名の会員増を実現する、②入会した会員さんが辞めないように関わり合いを強める、③西都や日南等空白地域へのアプローチを理事会として具体化し行動していくという3点を確認しました。

06. 2025年度役員（理事及び会計監査、支部幹事、青年部会幹事）の選考について、「理事及び会計監査選考規定」にもとづいて、2025年1月末に新年度役員予定者が確定するためのスケジュールを確認。第1回選考委員会を11月22日（金）に開催することとし、各組織で選考委員を11月18日までに推薦することを申し合わせました。各支部幹事、青年部会幹事の選考もこのスケジュールに準じて行われます。

07. 宮崎同友会の法人化について、法人化検討委員会からの答申内容を確認。法人化について第34回定時総会で提案することにむけて、学識等を重ねていくこととしました。（答申内容、本誌4頁と次号で掲載）

08. その他 ①11月12日（火）開催の、青全交in宮崎の総括会議の出席要請と、②事務研修の内容・日程の報告と対応の配慮の要請がありました。



発行 / 宮崎県中小企業家同友会 宮崎市恒久南3丁目3-2 恒吉ビル2F

TEL / 0985-50-3665 FAX / 0985-50-3653

✉ info@miyazaki.doyu.jp

宮崎同友会 

miyazaki.doyu.jp



青年部公式LINE

宮崎県中小企業家同友会

第62回（2024年7-9月期Ⅲ） 景況調査報告（ダイジェスト版）

1. 調査期間 2024年7-9月期（Ⅲ） 2. 調査対象企業 宮崎県中小企業家同友会会員企業 3. 調査方法 e-doyu、調査票等による自計記入
4. 回答企業数 調査対象企業455社、回答企業数160社（回答率35.2%）

県内景況サービス業が牽引するも、建設業、製造業で地域需要停滞響く

県内の経済状況は、サービス業を牽引役として改善基調が続いているものの、建設業、製造業では景況の伸び悩みが見られます。そのため、今期の景況は「改善基調が続いているものの、景況はまだら模様となっており、採算の改善に遅れが見られる」と判断できます。

- ・業況判断DIは「やや改善」、業況水準DIも「改善」へ
- ・売上高DIは「やや改善」、採算DIは「ほぼ横ばい」へ
- ・採算の水準DIは「改善」へ、製造業、情報・流通・商業で厳しく
- ・業況判断DI（前期比）については、「まだら模様」、全体としては改善基調続く

- ・所定外労働時間は「増加傾向」、労働者数は増加基調へ。人手の不足を残業で補う
- ・資金繰りは「窮屈感」が高まる、しかし、金融の状況の「二極化」が進んでいる。
- ・次期への「期待感」は高まるも、情報・流通・商業、きりしま支部で不安定化。

前回に引き続き、売上高DIと採算DIでは、景況に開きが存在しており、収益基盤の確保が引き続き課題となっています。金融の状況についても、「窮屈感」がやや高まり、経営状態の「二極化」を示唆する状況にあります。「金利のある経済」への転換のなかで、利益、事業資金、人材の「3つの確保」が必要となっています。

【経営上の問題点】

～ 建設と流通に民需停滞の兆し、製造業でコスト上昇がより顕著に ～

「現在の経営上の問題点」については、全回答者数に当たる160社から376件の回答が寄せられています。前回調査から基本的な動向をそのままに、仕入単価や人件費の上昇が経営を圧迫していることが示されています。また、民間需要については、引き続き懸念が見られ、大企業との競争環境の悪化も進んでいます。県内中小企業の経営上の課題は、さらに多様化が進んでいます。また、従業員の不足、人材確保難は引き続き、重大な経営上の課題となっています。税負担や仕入先からの値上り要請については、落ち着く傾向が見られます。

「現在の経営上の問題点」を回答の多い順に並べると、「仕入単価の上昇」（66社、41.3%）、「人件費の上昇」（52社、32.5%）、「従業員の不足」（48社、30.0%）、「民間需要の停滞」（29社、18.1%）、「熟練技術者の確保難」（23社、14.4%）、「同業者相互の価格競争の激化」（22社、13.8%）、「大企業の進出による競争激化」（17社、10.6%）となっています。このほか、「事業資金の借

入難」（12社、7.5%）については、一定数の回答が常に寄せられており、金融機関の姿勢の変化や金利の上昇などによって、今後回答数が増加することも予想されます。「輸出困難」との回答は4期連続で寄せられませんでした。

7-3 業種別経営上の問題点（2024年7月期）

問題点	全県	建設業	製造業	情報・流通・商業	県下三支部
仕入単価の上昇	66	15	25	10	16
人件費の上昇	52	10	20	15	7
従業員の不足	48	12	18	10	6
民間需要の停滞	29	8	10	5	6
熟練技術者の確保難	23	5	10	5	3
同業者相互の価格競争の激化	22	3	10	5	4
大企業の進出による競争激化	17	2	8	3	4
事業資金の借入難	12	1	5	2	4
輸出困難	0	0	0	0	0
税負担の増加	10	2	5	2	1
仕入先からの値上り要請	10	2	5	2	1
その他	10	2	5	2	1

【これからの経営上の重点】

～ 付加価値志向さらに強まり、多角化と集中化の両にらみへ人材確保進める ～

「経営基盤の強化に向けて注力する分野（経営上の重点）」については、全回答企業に当たる160社から438件の回答が寄せられています。本調査では、再度付加価値志向が高まり、財務体質の強化や多角化、集中化への動きが強まっていることが示されています。この動向を回答の多い順に並べると、「付加価値の増大」（91社、56.9%）、「新規受注（顧客）の確保」（60社、37.5%）、「人材確保」（57社、35.6%）、「社員教育」（46社、28.8%）、「既存客のフォロー」（39社、24.4%）、「財務体質の強化」（37社、23.1%）、「新規事業の展開」（32社、20.0%）、「得意分野の絞込み」（21社、13.1%）となっています。本調査では付加価値確保への志向がさらに強まるとともに、「新規事業展開」と「得意分野の絞込み」、つまり多角化と集中化を同時に進める動きが強まっています。採算状況別では、「採算好転企業」が「付加価値の増大」、「人材確保」

を、「採算横ばい企業」は「新規受注（顧客）の確保」を、「採算悪化企業」は「財務体質の強化」、「新規事業の展開」、「得意分野の絞込み」を進める動きが強まっています。

8-3 業種別の次期経営上の重点（2024年10-12月期）

重点分野	全県	建設業	製造業	情報・流通・商業	県下三支部
付加価値の増大	91	20	30	15	26
新規受注（顧客）の確保	60	15	20	10	15
人材確保	57	10	20	15	12
社員教育	46	5	15	10	16
既存客のフォロー	39	5	10	10	14
財務体質の強化	37	5	10	10	12
新規事業の展開	32	5	10	10	7
得意分野の絞込み	21	2	5	5	9
その他	10	2	5	2	1

日向市新生町の10号線塩見橋の信号を海側に曲がるとすぐにてっかいお米のカチチをした看板が目を引きます。てっかい工場と事務所兼自宅。事務所に入ると児玉氏が待っていて奥へと案内してくれました。川沿いの建物で景色も良く最高の場所です。

先代児玉虎次郎さんが日向市日知屋で児玉虎次郎商店として、精米小売業を開業。児玉氏は1999年に大学を卒業と同時に専務として入社しました。その時はお父様と児玉氏、社員さんの3名だったそうです。米穀販売の仲介、ビニールハウスや散水施設等の農業資材販売を行っており、1965年からはJAと共に稲作農家、椎茸農家、お茶生産農家への生産指導を開始。1999年からは発芽玄米の発売を開始しました。



(株)コダマ

専務 児玉 和憲さん

〔県北支部〕

＋ やってみたいとわからない



1 988年新生町に移転したのと同時に社名を株式会社コダマに変更。順調に売上を伸ばしています。大手ドラッグストアなどへの卸も開始し、充填ラインを増設、社員も12名になり3交代制でフル稼働するものの、ドラッグストアの薄利多売とエリア拡大計画についていけず納品から撤退します。撤退後は、社員が7名自主退社、新型コロナウイルス感染症の流行もあり地元飲食店、惣菜工場などが軒並み休業になり売り上げは激減したそうです。

そんな時、取引先の商社から「国産の焼酎用麦が余っている。コダマが持っている発芽玄米の技術を活用して麦芽をつくれないうか」という相談があったそうです。麦芽はウイスキーやビールの原料となりますが技術的に加工が難しく、外国産に依存しているメーカーがほとんど。崖っぷちの経営状況の打開策を模索していた児玉氏は、一縷の望みをかけて挑戦をはじめます。鹿児島県のウイスキーメーカーの協力も得て試行錯誤を重ね、2023年2月に事業再構築補助金の認可を受けたことで設備を購入して量産化を開始。現在では月商250万円から300万円と、同社の売り上

「麦

芽加工をもつと伸ばして売上を安定させ、他の商材も安定的に供給していきたい。現場の製造責任者たちがより良い商材をつくって、今までの取引先により多く仕入れていただき、私が一番楽しく笑顔で仕事をする事で周りが明るくなれば良いと思います。今までの社員さんがこれからも(株)コダマで働きたいと思って貰うことが私の願いです」と希望に満ちた表情で語ってくれました。

(株)コダマ

住所/ 日向市新生町1丁目100番地
TEL/ 0982-52-2308
FAX/ 0982-52-5515
事業内容/ 穀物加工業
(米加工品、穀物加工品)
HP/ <https://kodamaltld.com/>



(株)こだまの麦芽でつくったウイスキー

同 友会に入会して学んだことの実践と、退院してから真っ先にやったことは経営指針の発表と実践だったと語る児玉氏。社員とコミュニケーションを図るために、今でやらなかった朝のミーティング、社員一人ひとりと面談で考えを聞いたり、任せられなかったことを極力任せるなど自分の考えを変えているそうです。

そうすると自然とみんなに笑顔が出てきて責任感を持つようになり、売り上げも順調に伸びて、社員数も10名に戻ったそうです。

設立年	同友会名	法人形態	2024年度期首会員数	備考
1994年	福 島	事業協同組合	1,859	
2009年	北 海 道	一般社団法人	5,605	
2015年	福 岡	一般社団法人	2,356	
2020年	東 京	一般社団法人	2,201	
2021年	京 都	一般社団法人	1,828	
	香 川	一般社団法人	1,581	
	埼 玉	一般社団法人	1,001	
2023年	千 葉	一般社団法人	1,776	
	新 潟	一般社団法人	523	
	滋 賀	一般社団法人	584	4月23日
	宮 城	一般社団法人	987	4月23日
2024年	兵 庫	一般社団法人	2,332	4月24日
	熊 本	一般社団法人	725	5月 1日
	広 島	一般社団法人	3,030	5月30日

法人化した同友会

北海道同友会が当時抱えていた組織管理上の課題には、総務財務委員会の課題意識と同じものがあり、さらに、同友会の活動は公益性と公益性を持っているので、同友会運動と組織の発展のためには、より一層地域の理解と支援が必要という課題意識のなかでの法人化への取り組みでした。以後、同様な課題意識のなかで、2015年に福岡、2020年に東京、2021年に香川・京都、2023年に埼玉・千葉・新潟、2024年には宮城・滋賀・兵庫・広島・熊本と13同友会が一般社団法人化しており、さらに九州・沖縄ブロックでは、鹿児島同友会と沖縄同友会が来年度法人化の準備をすすめています。

宮崎同友会理事会では、2023年度に総務財務委員会からの提起をうけて、今年度の活動方針の《つなぐ》「⑧持続可能な組織運営に取り組む」のなかで、「近年全国的に進んでいる法人化を検討いたします」と提起しました。法人化検討特別委員会を設置し、そこでは法人化におけるメリット・デメリットを踏まえた答申を受け、理事会ではその答申をもとに今年度末までに法人化についての方向性を確認しますと提案しました。

10月30日に行われた第6回理事会では、法人化検討特別委員会から答申があり、理事会として法人化にむけてさらに学習をすすめていくことを確認しました。今号と次号の2回に渡って、法人化検討特別委員会からの答申内容をご紹介します。

法人化検討特別委員会 からの答申

2024年10月30日理事会 提案

2023年度の総務財務委員会からの提案をうけて設置された「法人化検討特別委員会」では、弥富勝美氏を委員長として、6月、7月、8月、10月と4回委員会を開催して宮崎同友会の法人化について検討を行いました。その結果、宮崎同友会の発展を組織的に保証するために、法人化組織にすべき段階に達していると判断しました。その理由は下記のとおりです。

法人化する上で選択する組織形態は「一般社団法人」がもっともなじみやすいと考えます。 なお、推進するにあっては、会員の声を十分にくみとり、会全体で討議検討を行って実行することが望ましいと考えます。

1 総務財務委員会での課題意識 2023年12月理事会へ総務財務委員会からの報告書より

宮崎同友会として30年以上同友会活動が経過するなかで、総務財務委員会の立場から同友会活動の内部、外部から見ると下記のような疑問点が出てきました。

① 金融資産や同友会の財産の所有権があいまい。

現在は任意団体のため銀行口座は代表理事や事務局長の個人名義です。リース契約や事務局の賃貸借契約も代表役員の個人名義で行われています。つまり、金融資産や数々の財産(経営指針をつくる会、共同求人活動、社員教育、その他)の所有権があいまいです。

2 各地同友会の法人化の動き

戦後にできた団体の多くは任意団体として設立されました。一般社団法人とは、一言でいえば「営利を目的としない人の集まりに人格を与えたもの」です。従来、「社団法人」の設立については主務官庁の許可が必要であり。その運営について官庁からの監督・指導がされていた。中同協を含め同友会全体としても法人化に対する考え方は消極的なものでした。たとえば①法人格を持つ会の運営は面倒な制約がある。役員の変更一つ自由にできず、官庁の許可が必要。②同友会は自主的な運動として社会的に評価され、立派な存在意義がある。法人格を持ちないと価値が薄れるというのは時代錯誤。③自主的で民主的な団体として活動し、社会的認知を既に得ているところが現在のところの到達点 (2005年中同協第37回定時総会第1分科会) という捉え方です。

一方、国も非営利法人、公益法人に関する改革を進めており、2002年3月に公益法人制度の抜本的な改革が閣議決定され、2008年12月には一般社団法人法など公益法人改革3法が施行されました。これにより、公益性があると認定を受けた「公益社団法人」と、自由な立場の「一般社団法人」に区別されました。この改正により一般社団法人については、主務官庁の許可なく他でも設立でき、その後も監督・指導もなく、民間企業と同様の事業が行えるようになり、戦後つくられた多くの団体が一般社団法人として設立できるようになりました。同友会は会員による自主的な活動を保障するために「任意団体を選択」してきましたが、法人格を取得しても自主的な活動が保障されることになりました。

各同友会の組織形態は基本的に人格なき社団 (任意団体) でしたが、1994年に福島同友会が事業協同組合として法人化後、2009年北海道同友会が一般社団法人に改組しました。

北海道同友会からの法人化に対する照会に対しての中同協としての見解は「中同協としてはその是非を決定する立場をとらず、同友会の自主的判断に任せる」(2008年6月中同協幹事会) というものでした。

広報誌にチラシを同封しませんか？

宮崎同友会会員限定で広報誌にチラシを同封することができます。チラシは、お送りしたい月の前月末までに事務局にお送りください。自社での取り組み、やっていることを他の仲間にも知ってもらいましょう。チラシの封入は**1部10円**です。会員460名に封入する場合は、460名×10円で4,600円になります。ご自身の所在支部のみ、特定の支部だけに封入することも可能です。同封をお考えの方は一度事務局までご連絡ください。



(株)Entime

代表取締役 寺山 大夢さん (36歳)

我が社は、中小企業のAI活用とDX化を支援するコンサルティング会社です。Larkを活用した業務効率化で、放課後デイや土業など多業種で導入実績があり、日報作成時間50%削減などの成果を実現。YouTubeでの情報発信も行い、実務に即した解決策と助成金活用で、導入までをトータルでサポートしています。

宮崎市下北方町下郷6022番地12
TEL / 080-5248-4253
業種 / 情報通信業AI・DX(LarK)



Bar lounge Artemis

代表 永吉 真理子さん (55歳)

活動に参加して「経営の悩みは経営者に聞け!」の言葉通り、多くの経営者と繋がりが、成功事例や課題解決のプロセスなど実践的な知見を得ることができました。今後もメンバーからのフィードバックを受けたり、自身のスキルや経営力向上のため学び続けたいと思います。



宮崎市中央通り1-16 ABC81 4F
TEL / 0985-28-9543 FAX / 0985-29-6272
業種 / 飲食業(スナック)

(有)三共しろありセンター

会社役員 山川 雄児さん (47歳)

創業48年のしろあり防除の会社です。その他害虫駆除もやっております。相手が虫なので同じ様な事がなく、日々勉強です。虫は得意なのですが、経営について、まだわからないことも多いので宜しくお願い致します。



宮崎市花ヶ島笹原2262-4
TEL / 0985-28-9543 FAX / 0985-29-6272
業種 / 害虫防除

特定非営利活動法人 ヒューマンネットワーク22

理事長 松田 保さん (65歳)

高齢者や障害者、子ども等に対して、在宅福祉サービスに関する事業や地域づくりまちづくり事業を行い、地域福祉の増進に寄与することを目的としています。廃校となった吉野野小学校で事業を営んでいます。町の人からは「暗くなっていた町に灯台の灯がまた灯った」と言われています。



日南市大字吉野方7363-1
TEL / 0987-25-1043 FAX / 0987-25-1043
業種 / 介護事業

NEW FACE

今回のご紹介は9月28日～10月30日に入会された4名の新会員さん (支部別・50音順) です。

県北支部	58名
ひむか支部	32名
宮崎北支部	137名
宮崎南支部	78名
きりしま支部	161名
合 計	466名

※2024年10月30日現在